

# 行政

## 労働力人口減少 税収に影響は 市税全体に及ぶものと認識している



人口と税収

小泉文人議員(創生市川)

人口増加が続いてきた本市でも本格的な人口減少に転じることである。人口減少は、労働力人口の減少ともいえ、労働力人口が不足することは本市の特徴にもなっている税収に影響するものと考えている。そこで、本市では今後の税収をどのように見込んでいくのか。

答 労働力人口の不足は税収に関わる納税者の減少につながるが、ひいては個人市民税の減収につながるものと考えている。本市においては、令和7年度までは人口が増加すると推計しているが、その後は労働力人口が次第に減少すると見込まれ、市税全体にも影響が及ぶものと認識している。

## 引き上げについて市の考えは 見直しの必要があると考える



国民健康保険税

高坂進議員(日本共産党)

本市の国民健康保険税の滞納状況や、現在の経済状況を踏まえると、保険税の引き上げを行うことで、更なる滞納を増やすことにつながるため、引き上げの実施時期を見直す必要があると考える。そこで、市は保険税の引き上げについてどのように考えているのか。

答 年々、本市の国保財政は悪化しているが、収支の改善や制度の安定的な運営により、加入者が安心して医療を受け続けられるよう保険税を見直す必要があると考える。また経済情勢を踏まえ可能な限り市民生活に影響が及ばないよう、かつ低所得者に配慮した見直しとなるよう考えていく。

## 移行に向けた本市の意思を問う 議論を深めていく姿勢を続ける



宮本均議員(公明党)

本市が中核市になると、保健所の運営主体として、新型コロナウイルスの感染拡大に柔軟で迅速な対応が

できることである。市長は就任後、中核市移行に関するはつきりとした意思表明をしないままであるが、今現在の本市の考えを問う。仮に本市運営の保健所

があった場合、感染症対策に必要な情報を得て迅速な対応をとることができたのではないかと考えている。市民の健康を守るためにも幅広い行政権限を持つことができれば、中核市移行への検討は、極めて重要な事項であると捉え、財政状況も確認しつつ議論を深めていく姿勢を続けていきたい。

## 図書館施設の設置は 議論を重ね 発展させたい



中町けい議員(市民の声)

市北部の住民には、図書館施設を通じた行政サービスが、他の地域と比べて、確立されていないことが課題だと思つた。そこで、市民

の居場所という側面からも今後、北部に中央図書館のようないくつかの図書館施設が必要と考えるが、市の見解を問う。図書館は、地域におけ

る情報拠点であり、子どもたちを支援する大切な施設であるが、その老朽化が進んでいる。このため、現在行われている公共施設個別計画の見直しと並行して、将来的に図書館を市内各地域にどのように設置していくのか、議論を重ねながらよりよい図書館サービスの発展を図っていきたい。

## 図書館利用券

### 利用券忘れ防止への取り組みは 防止に向け検証を進めていく



清水みな子議員(日本共産党)

中央図書館の自動貸出機に図書館利用券を忘れた市民が、その利用券で他人の本を借りられたとの話を聞

いたが、利用券忘れが発生した場合どのように対応しているのか。また、利用券忘れ防止や不正使用対応について、市の見解を問う。

答 忘れ物の利用券返却は、口頭で本人確認のみとしていたが、より厳格な方法への改善を検討していく。利用券忘れ防止については、今回の自動貸出機更新に向け、利用券が手から離れる機会の少ない貸出機を検証し参考とするとともに、不正使用については、詐欺等犯罪行為となる可能性もあるため厳正に対処していく。

## 中核市への移行

### 移行に向けた本市の意思を問う 議論を深めていく姿勢を続ける



宮本均議員(公明党)

本市が中核市になると、保健所の運営主体として、新型コロナウイルスの感染拡大に柔軟で迅速な対応が

できることである。市長は就任後、中核市移行に関するはつきりとした意思表明をしないままであるが、今現在の本市の考えを問う。仮に本市運営の保健所

があった場合、感染症対策に必要な情報を得て迅速な対応をとることができたのではないかと考えている。市民の健康を守るためにも幅広い行政権限を持つことができれば、中核市移行への検討は、極めて重要な事項であると捉え、財政状況も確認しつつ議論を深めていく姿勢を続けていきたい。

## 北部地域の行政サービス

### 図書館施設の設置は 議論を重ね 発展させたい



中町けい議員(市民の声)

市北部の住民には、図書館施設を通じた行政サービスが、他の地域と比べて、確立されていないことが課題だと思つた。そこで、市民

の居場所という側面からも今後、北部に中央図書館のようないくつかの図書館施設が必要と考えるが、市の見解を問う。図書館は、地域におけ

る情報拠点であり、子どもたちを支援する大切な施設であるが、その老朽化が進んでいる。このため、現在行われている公共施設個別計画の見直しと並行して、将来的に図書館を市内各地域にどのように設置していくのか、議論を重ねながらよりよい図書館サービスの発展を図っていきたい。

## 市川公民館北側の隣地

### 県から無償譲渡 今後の活用方法は 差し当たり駐車場の方向で検討する



石原たかゆき議員(創生市川)

市川公民館北側に隣接する国有地は元々本市の土地であり、県において当該土地が不要となったため、令

和5年4月、市に無償譲渡されることである。市は、譲渡後の土地をどのように活用する予定なのか。

答 県は、当該国有地北側の建設業者に対し、工事期間中、当該国有地を貸し付ける予定であり、本市としても、5年10月の工事完了まで貸し付けせざるを得ないと認識している。その後は、差し当たり駐車場として活用する方向で検討を進め、方針や予算のめどが付いた時点で近隣住民への説明などを実施したい。

# 街づくり

## 旗幟お敷地の共同住宅

### 本市職員の対応はいかに 条例にのっとっていると認識



かつまた竜大議員(緑の社会)

八幡風致地区内路地状(旗幟)敷地の大型共同住宅の建築について、事業者が駐車場附置台数の緩和

措置に関し、本市職員よりアドバイスを受けていたことが令和4年5月22日の会合で分かった。法令遵守の観点からすると、本市職員が対応に疑問を感じざるを得ないが、このことにつき

市はどのように認識しているのか。答 行政が事務を執行するに当たっては、条例の趣旨や目的に沿って、条例の条項を厳格に運用することが求められる。本市職員は、宅地開発条例の趣旨、目的を十分理解した上で、同条例の規定にのっとった対応をしていると認識している。

## 菅野駅前ロータリー

### 施設計画を見直すべき 納得できるものに見直していく



越川雅史議員(無所属の会)

菅野駅前ロータリーの施設計画は、地域住民への意見聴取がほとんど行われず

に策定されており、市が令和4年11月22日に開催した地域住民向けの説明会では、計画の「白紙撤回」を求め、住民は、タクシースタンドをかけたでも納得してもらえないものに見直していく。

答 本件については、問題点があると認識している。今後は、住民の要望や越川議員の意見も踏まえ、時間をかけてでも納得してもらえるものに見直していく。

# 道路交通

## 八幡5丁目クロマツ公園交差点

### 接触事故が多発 照明の増設を 視認性が低い箇所への対策を講じる



大久保たかし議員(未来)

ニッケコルトンプラザ通りの八幡5丁目クロマツ公園交差点周辺では、自動車や自転車などの接触事故が

多発している。当該交差点周辺は夜になると非常に暗く、特に歩道部が暗いと感じる。車が曲がることも多い場所であるため、照明を増設することはできないか。

答 当該交差点周辺においては、夜間における視認性が低いと思われる箇所が確認されている。今後の対応としては、交差点部で歩道側に向けた照明の増設などを進めるほか、歩道部については、照明の間隔が広い箇所には防犯灯を増設することについて関係者と調整していきたいと考えている。

# 教育

## 教職員の不足

### 今後の人材確保はいかに 魅力ある教師の育成等をする



堀越優議員(公明党)

昨今、教職員不足の報道がされる中、本市でも令和4年9月以降、教職員の不足数が増加し、現在も増加

中とのことである。そこで、教職員不足を解消するため、市今後の人材確保について、教育長の考えを問う。

答 まず、現在、教育現場で働く代替教員及び補助教員が来年度も市の学校で勤務したいと思えるような学校づくりをするほか、教職に関心のある学生等を対象に、その魅力を肌で味わう機会を設けていきたい。また、子どもたちがこういう先生になりたいと思える魅力ある教師の育成に努めることで、将来的に人材の確保につながるかと考えている。